

平成31年度(令和元年度)

会計課の方針書

組織名	会計課
所属長名	岩根 育子

1. 組織の使命(ありたい姿)

法令や例規に基づいた適正な公会計事務の執行

2. 組織の抱える課題(現状)

- ①通年における適正な会計事務の執行
- ②適正かつ効率的な資金管理
- ③財務会計システム改善による業務の効率化
- ④新公会計制度に向けた物品管理の継続
- ⑤職員における会計事務のスキルアップ

3. 今年度の『スローガン』

～業務の効率化を目指し～
適正な会計事務への全庁的な取り組み

4. 今年度の方針

- ①適正で円滑な出納
- ②適正な備品管理の徹底
- ③職員の会計事務スキルアップ

5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	①適正で円滑な出納
	取組内容	・年間を通じた、適正な会計事務の執行 ・円滑で効率的な会計事務処理に向けた財務会計システムの改善(ファームバンキング、決算処理等) ・収支予定額調書に基づいた計画的な出納
(2)	実現したい成果	②適正な備品管理の徹底
	取組内容	・新公会計制度を踏まえた備品管理の継続(50万円以上の物品の整備)
(3)	実現したい成果	③職員の会計事務スキルアップ
	取組内容	・庁内の職員研修を活用した、職員対象の会計事務研修会の開催 ・会計事務の専門的な研修受講による、会計課職員のスキルアップ ・全庁掲示板等の活用による、会計事務の知識、情報の周知

6. 方針に対する年度上期(4月～9月)の取組状況

(1)適正で円滑な出納

- ・返戻伝票の削減を目的に、7月以降毎月、返戻伝票の集計データを掲示板へ掲載し分析内容を全庁的に周知、及び8月、9月の前期釣銭検査時に、会計事務処理について指導。
- ・ファームバンキングについては、北都銀行やNTT担当者との協議を経て、端末機の購入等事前作業を実施。
- ・収支予定額調書の提出について、毎月提出依頼を掲示板へ掲載し周知を図った。

(2)適正な備品管理の徹底

- ・備品管理の継続と整備について、毎月50万円以上の新規登録の備品データの提出依頼を掲示板に掲載し、備品データの整備を実施。
- 併せて、既存の50万円以上の備品の整備依頼についても7月に掲示板へ掲載。

(3)職員の会計事務スキルアップ

- ・職員対象の会計事務研修会の開催について、予算執行方針説明会(4月)、文書管理・財務会計システム研修(6月)、新規採用職員研修(7月)の3回にわたり実施。
- ・会計課職員のスキルアップについて、民間会社主催の実務研修を受講(2名)、また、証券会社の担当者による、債券運用等の概要説明を実施。
- ・全庁掲示板等への会計事務の知識、情報の周知について、定例払情報や備品関係情報に併せ、随時的に必要な情報等を掲示板へ掲載。

7. 年度下期(10月～3月)に向けた課題と取組方針【ギャップと対策】

(1)適正で円滑な出納

- ・適正な会計事務の執行について、毎月の返戻伝票の集計、分析データの掲示板への掲載を継続し、全庁的に周知の上更なる職員への啓発を図っていく。
- また、10月、11月の後期釣銭検査時の会計事務指導の継続、併せて、釣銭検査対象外で返戻伝票の多い部署へは、直接訪問の上事務指導の予定。
- ・ファームバンキングについては、10月中の事前準備の完了後、北都銀行との事前打合せを行い11月から稼働の予定。
 - ・収支予定額調書の提出について、提出依頼の掲示板への掲載を今後も毎月継続し、計画的な資金運用を図る。
- また、令和2年度の資金管理計画を3月末までに策定の予定。

(2)適正な備品管理の徹底

- ・備品管理の継続、整備に関し、50万円以上の新規登録備品について、整備依頼の掲示板への掲載を今後も毎月継続、併せて、既存の50万円以上の備品整備の依頼についても、10月、1月に掲載の予定。

(3)職員の会計事務スキルアップ

- ・職員対象の会計事務研修会の開催について、11月の予算編成方針説明会時に実施予定。
- ・会計課職員のスキルアップについて、今後も、民間会社主催の実務研修等を受講の予定。(10月 2名、11月 1名)
- ・全庁掲示板を活用した会計事務の知識、情報の周知について、今後3回程度、「わかりやすい会計事務」に関する内容を掲示板へ掲載。また、今後も継続して随時的に必要な知識、情報等を掲示板へ掲載予定。

8. 総括(取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】)

(1)適正で円滑な出納

- ・返戻伝票の削減については、7月以降毎月、掲示板へ返戻伝票の集計、分析データの情報を掲載するも、前年度比では減少には至っていないため、今後も掲示板へ継続して掲載し、全庁的に更なる周知を図る。
- 併せて、つり銭検査時の会計事務指導、及び返戻件数の多い部署への個別訪問等を継続し、担当者以外に課長や係長に対する意識の向上を図っていく。
- ・ファームバンキングについて、令和元年度は11月に会計課に導入し、支払処理の所要時間短縮等の一定の成果があった。2年度においては、他の関係部署への周知と導入を推進する。(人事課、子育て支援課、高齢ふれあい課、国保市民課等)
 - ・資金運用においては、これまで、収支予定額調書や過去の収支、預金残高実績等により実施しており、ここ数年は一時借入や基金繰替運用もなく推移している。これについては今後も継続し、また、毎年度策定の資金管理計画に基づき、適正な資金管理に努めていきたい。

(2)適正な備品管理の徹底

- ・新公会計制度に向け、50万円以上の備品整備については、新規は毎月、既存は7,10,1月の3回にわたり掲示板へ掲載し大部浸透してきている。今後も、新規・既存の備品ともに掲示板を活用し、更なる整備の周知、徹底を継続していく。
- また、備品費購入のみならず、委託料や工事請負費に含まれる備品についても遺漏なく整備するように周知する。

(3)職員の会計事務スキルアップ

- ・会計事務について、職員研修を活用した説明会を開催した。(3回)
- 今後も、職員への会計事務の概要の周知や知識・情報等を習得してもらうため、説明会を開催していく。
- ・会計課職員の研修受講について、今年度は民間会社主催の研修を6名受講し、一定の成果が得られた。今後も、職員のスキルアップのため、庁内外や民間会社主催の研修受講を継続する。(特に、新公会計制度に関する研修等)
 - ・これまで掲示板を活用し、会計事務の知識や情報等について必要に応じて掲載している。今後も継続して随時的にタイムリーな知識、情報等を掲載していく。